

令和8年度 校長より ⑧

オープニングセレモニーは、創立120周年記念事業で各所が整備されつつある中庭で実施されました。9月25日(金)・26日(土)は、橘華祭(文化祭)が本校で開催されました。初日のオープニングセレモニーでは、仮装で身をまとった各参加団体の代表者から20秒ほどのPRが順次行われ、その後実行委員長の開会宣言で校内発表がスタートされました。生徒たちは参加団体ごとのTシャツで仲間との一体感を味わいながら自分たちの企画の運営を楽しみ、他の団体の企画にも足を運んで仲間同士で自分たちだけの文化祭に浸っていました。2日目は生憎の天気となりましたが、それでも生徒のご家族や本校の卒業生、地域の方々、入学検討中の中学生やその保護者等の皆様に多数ご来場いただきました。普段では見ることのできない満面の笑顔や活力溢れる大津生の姿に、感銘を受けている様子でした。また、昨年度に引き続き、今年度もWBCムエタイ世界ミニフライ級王者の藤原乃愛選手(令和5年卒業)がご来校してくださいました。藤原選手は、8月2日(日)に大さん橋ホールで開催された『BOM51』にて、同級世界1位カナ・ウォーワンチャイ選手を判定3-0で破り、WBCムエタイ世界ミニフライ級王座の初防衛に成功したとのことでした。そのことが評価されて、WBCムエタイ7月度の「MVP」にも選出されたそうです。こうして現に世界で活躍する卒業生が在校生の前に姿を見せてくれることは、生徒たちにとって自分の未来に向けた励みとなり、大変有り難いことです。卒業生の皆さんにはいつでも本校にお越しいただき、生徒たちに刺激を与えていただきたいと思います。なお、今年度も同窓会「たちばな会」やPTAの皆様にも関係団体として文化祭に2日間ご参加いただきました。生徒やご来場いただいた方々に、応接室や会議室で軽食類の提供やバザーなど、校史資料室で本校の歴史の紹介など、A棟4階教室で現在の学校の教育活動の案内などを行っていただきました。このように今年度も生徒、保護者、卒業生が一堂に会する形で文化祭を行うことができました。これぞ伝統校の横須賀大津高校ならではの姿と改めて感じた所です。生徒たちにはこの恵まれた学び舎で送る学校生活が当たり前ではないことに一日でも早く気付くとともに、これまで本校が築いてきた歴史や伝統の意義や価値をしっかりと受け止められるようになってくれることを心から願っています。

3年生にとって最後の行事となる文化祭が終了しました。学校推薦型選抜指定校推薦の受験が始まっています。卒業式に向けて残された日々を大切にするとともに、自分の進路実現が果たせるように最後まで全力を尽くしてください。

令和8年9月

神奈川県立横須賀大津高等学校 校長 幸田 隆